

# 平成20年度事業計画書

学校法人新潟青陵学園

# 目 次

序文 .....	1
1 教育方針・教育目標 .....	3
2 沿革 .....	6
3 設置する学校の概要 .....	7
1) 設置する学校・学部・学科等 .....	7
2) 当該学校・学部・学科等の入学定員、学生数の状況 .....	8
3) 役員・教職員の概要等 .....	9
4 事業計画の概要 .....	10
1) 当該年度の事業（経営）の概要 .....	10
2) 当該年度の主な事業の目的・計画 .....	16
5 財務計画の概要 .....	19
1) 経年比較等 .....	19
2) 過年度の資産総額（純資産額）の推移 .....	22

# 平成20年度事業計画書

学校法人新潟青陵学園

教育基本法が改正されて、私立学校の振興に関する条文と大学に関する条文が盛り込まれた。国の学校教育における私学とりわけ大学が果たす役割は大きい。これら教育基本法の改正を踏まえて、文部科学省は「学校教育法」「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」「教育職員免許法」の改正を行った。学校教育法では幼稚園から大学までの各学校の目的や目標の設定を義務付け、高等学校以下の学校にあつては副校長・基幹教諭・指導教諭の新しい職位を20年4月1日から施行する。地方教育行政の組織及び運営に関する法律の私学関連として、知事に対する都道府県教育委員会の助言・援助が規定化されて関係省令の改正が準備されている。また、教育職員免許法が21年4月の施行に向けて関係省令の改正や更新講習の手続きを進めている。

一方、学部学科が多様化して学部教育における学士号が保証するところの学士課程教育の再構築（学士力）が叫ばれている。また、大学等は認証評価3年目を迎えて、概ね3割の大学が第三者評価の洗礼を受けるまでになってきた。高等学校以下の学校にあつても学校教育法、同法施行規則、省令に基づいて学校評価が、平成20年4月1日から義務化される。

私学助成に関連して、基盤的な経費である私立大学等経常費補助金はマイナス1%の予算措置となった。マイナスの部分は、私学助成の中味の改善、税制改正に基づく資金調達の促進、競争資金の活用、科研費等の間接経費を4本柱にして対応するよう文部科学省は求めている。とりわけ高度化推進事業の見直しとして、特色GP・現代GPを発展させて「質の高い大学教育推進プログラム」を新設した。小規模校も計画できるように配慮している。また、施設耐震補強事業として19年度補正予算で45億円の充実を図り（補助率大学1/2・高校以下1/3）中長期にわたっての活用を文部科学省は求めている。

さらに、文部科学省は国公私立を通じた大学間の戦略的な連携取り組みを支援するために戦略的  
大学支援事業を創設している。競争から連携に方針を変え、予算も30億円を計上した。連携は、特に地方の大学において求められるとして、遠山プランがきっかけとなって競争原理が導入されたが、一転して“適度な競争と適度な連携”を政策に据えている。

情報公開にあつては、在学者、保護者等の利害関係者等への公開のみならず消費者保護の観点から受験希望者等に対しても学校法人の財務情報や教育組織・施設設備等の教育環境・受験者数合格者数等の入学選抜に関する情報は積極的に公開すべきであるとしている。また、学校法人は公共性の高い法人であることに鑑みて、社会全体からの協力を得る必要があるとしてより積極的な情報公開と説明責任を求めている。

少子化による教育環境は一段と厳しさを増している。文部科学省は「私学事業団の経営困難な学校法人への対応方針」「学校法人活性化再生研究会最終報告」を参考にしての経営改善を求めている。加えて、プログラム化した定量的な経営判断指標や学校法人の管理運営等に関する自己点検リストを活用した自主的な経営改善を求めている。

地球環境保全に関しては、国はCO<sub>2</sub>対策を官民挙げて取り組んでおり、全私学連合も自主行動計画を立案した。同時に傘下の学校に対して自主的な取り組みを求めている。

翻って新潟青陵学園では、平成18年度に発足した新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科臨床心理学専攻（修士課程）は平成20年3月に一期生10人を輩出して順調に進展している。平成20年度には特定の講義を受講したり、臨床心理センターにおける事例を担当するなど臨床心理の研究研鑽を目的とした研究生の受け入れを予定している。なお、臨床心理センターは社会貢献の一環として市民に積極的に開放しており相談業務も年間約1千件の多くを誇っている。

次に、大学院、大学、短期大学にあっては教育研究活動を一層改善するためにそれぞれ自己点検・評価を進めてきた。短期大学にあっては平成18年度に財団法人短期大学基準協会による第三者評価を受け評価結果が「適格」済みとなっている。引き続き、次の評価までの期間中に適格校同士（相手校：聖和学園短期大学）の相互評価を計画している。大学院、大学にあっては平成20年3月に大学評価結果並びに認証評価結果が財団法人大学基準協会の理事会・評議員会の承認を経て、文部科学大臣に報告される運びとなっている。

また、大学にあっては平成20年10月に認定看護師養成（皮膚・排泄ケア）を目的とした認定看護師研修センターの開設が予定されている。

次に、大学院、大学、短期大学の平成20年度の重点事業として6号館校舎の建設があげられている。その概要は、以下のとおりである。

### 校舎新築工事概要

#### 【建設地】

新潟県新潟市中央区水道町1 - 5939

#### 【構造・規模】

鉄筋コンクリート造 地上3階

#### 【面積】

建築面積 = 1,085.73平方メートル

延床面積 = 3,159.51平方メートル

#### 【竣工】

平成20年9月15日

#### 【工事価格】

7億円 税込み

#### 【主な諸室】

学生ホールA、学生ホールB、ロッカー室、体育実技室、用具室、更衣室、大講義室（1室）、中講義室（3室）、講義室兼ゼミナール室（2室）、認定看護師研修センター専任教員室、非常勤講師室、認定看護師研修室、認定看護師演習室、認定看護師研修兼ゼミナール室（2室）、認定看護師研修生用ロッカー室（2室）、ゼミナール室（10室）、学生相談室（2室）、資料室、院生講義室、院生及び研究生控室

高等学校にあつては、陣容を一新した新体制、職員会議規則の制定、学校評価規程の制定によって学校運営の改善と発展を目指している。また、教育の水準の向上とともに財務内容の改善を期している。

本学園は、学校法人の高い公益性に鑑みて、在学生・保護者等の関係者の理解と協力を得るためにも、積極的に財務の内容を公開し、或いは、教育研究活動等の状況についても積極的に情報を公開し、説明責任と透明性の確保に努めていることを申し添える。

以下に、教育方針・教育目標、沿革、設置する学校の概要、事業計画の概要、財務計画の概要を示す。

## 1 教育方針・教育目標

### <新潟青陵大学大学院・新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部>

本学では、“教育方針・教育目標”を設定して、「本学が目指す学生の姿」「本学が目指す教職員の姿」並びに本学の設置母体である新潟青陵学園の「本学園が目指す学園の姿」の三つのアドミッション・ポリシーを以下のように提示している。

#### 本学の教育方針・教育目標

##### 一 本学が目指す学生の姿

- 1 学生は、尊敬されるに足る人間として自ら恃(たの)むところを確かにするとともに、自己の実現に努力を惜しまない。
  - (ア) 自他の生命に対する畏敬の念を持ち、お互いに生かされ、助けあっていることに感謝し、広い視野と慈しみの心を持って人間及び社会の本質を理解できる。
  - (イ) 様々なものに感動する心を持ち、それを言葉や音楽、絵画、身体などを通じて創造的に表現できる。
  - (ウ) 周囲の現実を把握し、社会にあつては上司、同僚、家族、学内にあつては教職員、友人などと認識を共有し、かつ自己の意見を発表してこれを理解させることができる。
- 2 学生は、社会人として必要な基本的教養と礼儀を身に付けている。
  - (ア) 隣人に対して、笑顔で気持ちよく挨拶することができる。
  - (イ) 相手の立場を尊重し、意見に耳を傾け、時間や約束が守れる。
  - (ウ) 自己責任の原則を理解し、自分の態度や習慣、身だしなみを客観的に評価できる。
  - (エ) 弱者を助けるためや、住みよい環境整備のために自らの犠牲をいとわないなど、公共の意義を理解している。
  - (オ) 生涯にわたって継続して培う意義がある趣味を持っている。
- 3 学生は、新入社会人として必要な知識、技能を身に付けている。
  - (ア) 専門職としての見識と能力を保持し(必要な検定や資格を取得する。)、さらにその向上に努めている。
  - (イ) 国内外の政治、経済、社会事情について、新聞などにより、周囲の会話に参加できる程度の一般常識がある。

- (ウ) 人前で3分間程度のスピーチが原稿無しでできる。
- (エ) 読解、計算などの基本的能力に自信を持ち、少なくとも一つ以上の外国語について日常基礎会話ができる。
- (オ) 専門の業務に必要なコンピュータによる情報処理能力を身に付ける。

## 二 本学が目指す教職員の姿

- 1 本学教職員は、その目的意識(志)、言動、姿勢をもって、学生に感動を伝えることを最大の価値とし、学生から敬愛され、評価される存在である。
  - (ア) 学生の人格と立場を尊重し、学業遂行、授業理解支援のために最善の努力を惜しまない。
  - (イ) 授業内外の指導、事務の応接などを通じて、人格的な感化を及ぼす存在である。
  - (ウ) 学生の態度や習慣、身だしなみを指導するにあたって、率先してその範を示す存在である。
- 2 本学教職員は、地域に貢献し、評価される本学の、価値ある不可欠の構成員である。
  - (ア) 本学が目指す姿を自らのものとし、その達成に全力を尽くしている。
  - (イ) 自らの属する学部、学科、部課その他のグループ全体の向上、発展のために創意、工夫と献身的努力を惜しまない。
  - (ウ) 本学において、上司、同僚及び部下から敬愛される存在である。
  - (エ) 地域社会において、よき隣人であると共に、本学を代表して尊敬される存在である。
- 3 本学教職員は、その研究分野又は担当する事務の分野において、本学内外から評価され、尊敬される存在である。

## 三 本学園が目指す学園の姿

- 1 本学園は、上記の項目に掲げた資質を備えた学生の育成に全力を尽くすとともに、地域の社会人に開かれた存在である。
  - (ア) 理事会を中心とするリーダーシップの発揮と教授会、職員会議などによる教職員の意見申し出との調和が図られている。
  - (イ) 保護者、卒業生代表、地域、職域代表などからの意見を積極的に吸い上げ、地域に密着する教育目標の設定など学校運営の重要事項に反映している。
  - (ウ) 科目履修など、社会人教育の充実が図られている。
  - (エ) 公開講座、図書館利用など市民の便宜が図られている。
  - (オ) 周辺、近隣地域との結びつきに支えられている。
- 2 本学園は、学生及び地域社会を顧客とし、顧客満足を徹底している。
  - (ア) 専門的、目的的教育に関し、地元企業の発展の方向に即している。
  - (イ) 就職活動支援その他学生の面倒見の良いことで知られている。
  - (ウ) 学生の専門的な資格又は検定の取得支援の対策が充分である。
- 3 本学園は、教職員の十分な満足を得ている。
  - (ア) 本学園が顧客満足の成果を収め、教職員の創意工夫が生かされているなど、教職員に自己実現の満足感がある。



- (イ) 本学園が内外の環境変化に対応して発展する意欲と能力を持ち、地域が誇りとし得る学園を目指すなど学園の将来に不安がない。
- (ウ) 環境問題など今日的な関心事に率先して対応する積極性がある。
- (エ) 学園の情報は充分に開示され、学園内の意思の疎通に支障がない。
- (オ) 教職員は、能力とその成果によって酬われ、かつその待遇は、県内類似の職種に比して劣るところがない。
- (カ) 男女共同参画社会実現などの勤務環境が保証され、阻害要因是正の為の苦情処理制度が整備されている。

### 大学院が養成しようとする人材像及び教育目標

本学大学院臨床心理学研究科臨床心理学専攻の教育研究上の目的は、臨床心理学とその関係分野において実践的な教育と研究を通じ、高度な専門知識を修得させるとともに、職業人として自律した心理臨床家を育成することにある。

### 看護福祉心理学部看護学科が養成しようとする人材像及び教育目標

看護学科の教育上の目的は、看護に必要な知識と技術を修得させるとともに、広く深い教養と豊かな人間性を培い、看護の専門職として国際社会において貢献することのできる人材を育成することにある。

### 看護福祉心理学部福祉心理学科が養成しようとする人材像及び教育目標

福祉心理学科の教育上の目的は、生命尊重・人間尊重の理念に基づき、人々のクオリティ・オブ・ライフの向上を図るため、福祉学・心理学・社会学等の専門知識・技術の応用力、および、豊かな感性、国際感覚を持ち合わせた専門家を養成することにある。

### 短期大学部人間総合学科が養成しようとする人材像及び教育目標

人間総合学科の教育上の目的は、人生に目的（志）を持ち、それを実現するに十分な表現能力や豊かな感性とライフサイクルに対応して地域社会に貢献できる知識や技術（多様な資格と検定）を身につけた人材を養成することにある。

### 短期大学部幼児教育学科が養成しようとする人材像及び教育目標

幼児教育学科の教育上の目的は、幼児教育分野における実践的教育を通して、万物に対する深い愛と広い視野、豊かな感性をもって保育を創造することができる専門家を養成することにある。

### <新潟青陵高等学校>

教育理念「至誠」のもと、社会に有為な人間を育成することに努める。そのために目標として、  
「基礎的・基本的学力がつくよう努める。『授業時数の確保に努め、それぞれの授業に真剣に

取り組む。家庭学習の時間の確保。』 規律正しい生活習慣が身につくよう努める。 学力を高め、大学等進学を積極的に推し進める。『特別進学コース、総合進学コース（ 類・ 類）において充実した指導。授業の年間計画（シラバス）、学習到達目標の明示。』 成績不振生徒に対してはきめ細かに指導し、中退防止に努める。 部活動、各種委員会を通し、人間形成の確立と技術・技能の練度、習得、高揚に努める。」を掲げ、きめ細かな指導に努め、本校の前進を目指している。

### <新潟青陵幼稚園>

本幼稚園は、教育方針にシュタイナー教育の実践を掲げている。この教育は「やがて大人になった時に真に思考力のある自立した人間」となることを目指すものである。人格形成の基礎として、幼児期には、意志、感性、感情を育てることが必要である。保育者は模倣の対象となるべく資質向上に努め、自然環境、良質な教材の利用、遊びを中心とした教育内容を計画し、幼児の意欲、コミュニケーション能力、想像力、創造性、感性を伸ばす教育を目指している。

## 2 沿革

明治33年 4月	下田歌子女史の帝国婦人協会新潟支会により、修業年限3か年の学校「裁縫伝習所」として呱呱の声をあぐ
7月	校名を「新潟女子工芸」と改称
43年 6月	西堀通り2番町に校舎新築
昭和13年 1月	財団法人組織に変更
19年 4月	校名を財団法人新潟高等実践女学校と改称
21年 4月	校名を財団法人新潟女子工芸学校と改称
23年 4月	学制改革により校名を新潟女子工芸高等学校と改称、併設中学校設置
26年 3月	私立学校法により学校法人組織に変更
32年10月	水道町1丁目に校舎新築移転
35年 4月	高等学校に普通科増設
36年 4月	高等学校の上に修業年限2か年の専攻科（短大の前身）を設置
37年 4月	高等学校に商業科増設
40年 4月	法人名を新潟青陵学園と改称、新潟青陵高等学校、新潟青陵中学校に校名を改称、新潟青陵女子短期大学を開学（被服科）
42年 4月	新潟青陵幼稚園を設置
43年 4月	短期大学に幼児教育科増設
45年 4月	新潟青陵学園寄宿舍（ひめまつ荘）新築
46年 3月	高等学校鉄筋4階建校舎増築竣工
47年 4月	高等学校鉄筋校舎増築、第2体育館新築竣工 短期大学に専攻科（服飾美術専攻、幼児教育専攻）増設
48年 1月	学園用地44,000m <sup>2</sup> を購入



昭和50年4月	短期大学被服科を服飾美術科に改称
57年4月	新潟青陵中学校廃止
61年3月	高等学校鉄筋4階建校舎(管理棟)新築
62年3月	高等学校鉄筋2層構造4階建体育館新築
平成3年4月	新潟青陵学園寄宿舎(ひめまつ荘)を廃止し、短期大学教育施設「3号館」に用途を変更
4年4月	短期大学服飾美術科を生活文化学科に、幼児教育科を幼児教育学科に改称、新潟青陵幼稚園を新潟青陵女子短期大学附属幼稚園に改称
5年4月	短期大学専攻科廃止
6年4月	高等学校被服科を生活服飾科に改称
8年4月	短期大学に福祉心理学科、国際文化学科増設
12年4月	新潟青陵大学(看護福祉心理学部看護学科、福祉心理学科)開学
12年10月	新潟青陵学園(新潟青陵高等学校)創立100周年記念式典挙行
13年5月	短期大学福祉心理学科廃止
15年5月	高等学校商業科廃止
16年4月	短期大学の名称を新潟青陵大学短期大学部に改称、人間総合学科増設、幼稚園の名称を新潟青陵幼稚園に改称
10月	大学キャンパスに校舎「5号館」新築
17年4月	新潟青陵大学福祉心理学科にソーシャルワーク、福祉ケア、子ども発達サポート、心理カウンセリングのコース制導入 短期大学部人間総合学科に人間総合、介護福祉のコース制導入 短期大学部生活文化学科、国際文化学科廃止
18年4月	新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科臨床心理学専攻(修士課程)開設
(20年10月)	新潟青陵大学認定看護師研修センター開設)

### 3 設置する学校の概要

#### 1) 設置する学校・学部・学科等

##### 新潟青陵大学

大学院	臨床心理学研究科	(平成18年度開設)
看護福祉心理学部	看護学科	(平成12年度開設)
	福祉心理学科	(平成12年度開設)
新潟青陵大学短期大学部	幼児教育学科	(昭和43年度開設)
	人間総合学科	(平成16年度開設)
新潟青陵高等学校	生活服飾科	(昭和23年度開設)
	普通科	(昭和35年度開設)
新潟青陵幼稚園		(昭和42年度開設)

2) 当該学校・学部・学科等の入学定員、学生数の状況

ア、20年度当初予算策定時における学生数の見込み

【新潟青陵大学大学院】

学 科	入学定員	1年	2年			計	収容定員	充足率
臨床心理学研究科	10	10	10	-	-	20	20	1.00

【新潟青陵大学】

学 科	入学定員	1年	2年	3年	4年	計	収容定員	充足率
看護学科	80 3年次 10	86	82	96	91	355	340	1.04
福祉心理学科	110 3年次 10	129	129	135	136	529	430	1.23
計	210	215	211	231	227	884	770	1.14

平成20年度 福祉心理学科(100 110)入学定員変更

【新潟青陵大学短期大学部】

学 科	入学定員	1年	2年			計	収容定員	充足率
人間総合学科	200	258	252	-	-	510	400	1.27
幼児教育学科	130	129	129	-	-	258	230	1.12
計	330	387	381	-	-	768	630	1.21

平成20年度 幼児教育学科(100 130)入学定員変更

【新潟青陵高等学校】

学 科	入学定員	1年	2年	3年		計	収容定員	充足率
普通科	360	360	346	267	-	973	1080	0.90
生活服飾科	36	36	27	39	-	102	112	0.91
計	396	396	373	306	-	1075	1192	0.90

【新潟青陵幼稚園】

学 科	入学定員	3才児	4才児	5才児		計	収容定員	充足率
計	50	49	35	46	-	130	150	0.86

イ、参考：18年度（募集年度）および19年度（入学年度）の状況

【新潟青陵大学大学院】

学 科	入学定員	受験者数	合格者数	入学者数	入定充足率	収容定員	現 員	収容充足率
臨床心理学研究科	10	22	12	10	1.00	20	20	1.00

【新潟青陵大学】

学 科	入学定員	受験者数	合格者数	入学者数	入定充足率	収容定員	現 員	収容充足率
看 護 学 科	80 3年次 10	394	179	94	1.04	340	356	1.05
福 祉 心 理 学 科	100 3年次 10	522	251	140	1.27	420	514	1.22
計	200	916	430	234	1.17	760	870	1.14

【新潟青陵大学短期大学部】

学 科	入学定員	受験者数	合格者数	入学者数	入定充足率	収容定員	現 員	収容充足率
人 間 総 合 学 科	200	325	278	259	1.29	400	508	1.27
幼 児 教 育 学 科	100	494	152	129	1.29	200	258	1.29
計	300	819	430	388	1.29	600	766	1.28

【新潟青陵高等学校】

学 科	入学定員	受験者数	合格者数	入学者数	入定充足率	収容定員	現 員	収容充足率
普 通 科	360	1060	1000	369	1.03	1080	947	0.88
生 活 服 飾 科	36	46	42	29	0.81	116	88	0.76
計	396	1106	1042	398	1.01	1196	1035	0.87

【新潟青陵幼稚園】

3 才 児			4 才 児			5 才 児			収 容 定 員	現 員	収 容 充 足 率
募集数	応募数	入園数	募集数	応募数	入園数	募集数	応募数	入園数			
46	39	36	7	8	8	5	3	3	150	130	0.87

3) 役員・教職員の概要等

ア、役 員

	氏 名	就任年月日	重任年月日	選任条項
理 事 長	関 昭 一	5. 4. 1	20. 4. 1	短期大学長
常務理事	大 谷 一 男	6. 4. 1	18. 4. 1	理事会選任
理 事	坂 井 熙 一	3. 1. 24	19. 4. 1	評議員会選任
理 事	石 本 隆太郎	14. 4. 1	18. 4. 1	同 上
理 事	大 川 賢 一	19. 4. 1		理事会選任
理 事	牧 野 庄 三	20. 4. 1		同 上
理 事	清 水 不二雄	18. 4. 1	19. 4. 1	大学長
理 事	半 藤 保	15. 4. 1	19. 4. 1	評議員会選任
理 事	諫 山 正	17. 4. 1		同 上
理 事	宮 澤 稔	20. 4. 1		高等学校長

理事	小山 明	20. 4. 1		評議員会選任
監事	大掛 幸子	10. 4. 1	18. 4. 1	理事長選任
監事	赤羽 良樹	19. 4. 1		同上
監事	藤田 普	19. 4. 1		同上

イ、当初予算策定時における20年度教職員の見込み（学長・校長・園長を含む）

【新潟青陵大学】

学 科	教授	准教授	助教	講 師		助手	計		職 員	
	専任	専任	専任	専任	兼任	専任	専任	兼任	専任	兼任
看 護	13	8	2	7	27	11	41	27	7	1
福 祉 心 理	18	6	1	2	41	4	31	41	8	4
計	31	14	3	9	68	15	72	68	15	5

福祉心理学科には大学院の教員（教授7、講師1）を含む。

【新潟青陵大学短期大学部】

学 科	教授	准教授	助教	講 師		助手	計		職 員	
	専任	専任	専任	専任	兼任	専任	専任	兼任	専任	兼任
人 間 総 合	6	12	1	1	37	-	20	37	9	2
幼 児 教 育	5	3	-	3	24	-	11	24	7	1
計	11	15	1	4	61	-	31	61	16	3

【新潟青陵高等学校】

学 科	教諭	助教諭	講 師		助手	計		職 員	
	専任	専任	専任	兼任	専任	専任	兼任	専任	兼任
計	68	-	-	35	-	68	35	9	4

【新潟青陵幼稚園】

学 科	教諭	助教諭	講 師		助手	計		職 員	
	専任	専任	専任	兼任	専任	専任	兼任	専任	兼任
計	7	-	-	6	-	7	6	-	1

4 事業計画の概要

1) 当該年度の事業（経営）の概要

大学キャンパスで6号館校舎の建設を19年度と20年度の2か年継続事業として計画した。所要額は税込みで7億円、教育研究用機器備品費は約1億円、計8億円の事業規模である。財源は、施設拡充引当特定預金の取崩額2億円、19年度と20年度の一般財源3億円、市中金融機関借入金3億円である。この計画によって消費収支計算では設備投資の影響で消費支出超過額が2か年間続くものの大学と短期大学の通常年度の黒字ベースで考えると3か年程度で解消できる見込みである。以下に部門別の事業（経営）の概要を示す。

ア．新潟青陵大学

学生納付金収入は、大学院20人、学部884人の積算学生数に、認定看護師研修生30人を加えて対前年比2千883万円の12億5千233万円で積算した。手数料収入も認定看護師選考料150万円を含めて2千472万円で積算した。補助金収入は、認定看護師養成のための看護職員臨床技術向上推進事業費補助金388万円を含めて1億9千678万円を見込んだ。6号館校舎建設に係る借入金および施設拡充引当特定資産からの繰入収入は平成19年度の第2次補正に準じて財源措置を講じた。人件費支出は、認定看護師研修センター専任教員2人と非常勤講師20人の増員で対前年比1千665万円増の8億696万円で積算した。教育研究経費支出には認定看護師研修センターの教員研究費・実験器具費・研修生実習経費等の経費541万円を計上し、管理経費支出には認定看護師研修センターの募集要項等の経費61万円を計上。設備関係支出では6号館校舎の教育研究用機器備品費9千756万円を短期大学部と按分して計上した。次年度繰越支払資金は9億9千130万円（前年度第3次補正予算8億8千161万円）で堅調である。設備投資に伴う基本金組入額の圧迫要因もあって消費収支差額は、支出超過額9千118万円（前年度第3次補正予算9千649万円）で、消費収支差額はやや持ち直した。経営の状況は安定している。

【資金収支】

単位 千円

収入科目	金額	支出科目	金額
帰属収入の計	1,482,880	人件費支出	806,960
うち、授業料収入	1,252,330	教育経費・管理経費支出	338,780
うち、補助金収入	196,780	借入金等返済・利息支出	72,940
借入金等収入	81,100	施設関係・設備関係支出	282,600
前受金収入	228,730	資産運用支出	480
その他の収入	66,600	その他の支出	8,660
		〔予備費〕	5,000
		学校法人経費按分額	12,170
資金収入調整勘定	228,730	資金支出調整勘定	6,700
前年度繰越支払資金	881,611	次年度繰越支払資金	991,301
計	2,512,191	計	2,512,191

【消費収支】

収入科目	金額	支出科目	金額
帰属収入の計	1,483,380	人件費	824,280
うち、授業料	1,252,330	教育経費・管理経費	460,170
うち、補助金	196,780	うち、減価償却額	121,390
		借入金等利息	10,440
		資産処分差額	0
		債務保証損失引当金繰入額	0
		〔予備費〕	3,000
基本金組入額	264,500	学校法人経費按分額	12,170
計	1,218,880	計	1,310,060
		当年度消費収入超過額	91,180
		前年度繰越消費収入超過額	310,492
		翌年度繰越消費収入超過額	401,672

学生の出口対策にあつては、進路相談機能の強化を図りながら18年度及び19年度（未確定）実績を上回ることを目標にしている。また、本学には多くの看護、福祉の現場経験者がおり、授業においても、個別相談においても、学生の進路選択の支援となる活動が行われている。また、ラポールを土台とした個別相談による進路相談が有効に機能していると言える。

- 18年度事業報告書の再掲 -

【職業紹介状況】

項目	看護学科			福祉心理学科			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
就職希望者数	9	74	83	32	67	99	41	141	182
就職決定者数	9	72	81	28	66	94	37	138	175
就職率（％）	100.0	97.3	97.6	87.5	98.5	94.9	90.2	97.9	96.2

【看護学科】

	看護師	保健師	助産師	養護教諭	その他	計
県内	32	6	7	2	-	47
県外	18	5	6	5	-	34
計	50	11	13	7	-	81

【福祉心理学科】

	生活相談員	生活支援員	介護職	PSW	MSW	心理・児童他	一般企業等	計
県内	13	13	28	4	-	4	21	83
県外	2	1	2	1	-	3	2	11
計	15	14	30	5	-	7	23	94



イ．新潟青陵大学短期大学部

学生納付金収入は768人の積算学生数で、対前年比215万円減の7億7千280万円で積算した。その他の各収入項目は平成19年度第3次補正額に準じて見込んだ。6号館校舎建設に係る借入金および施設拡充引当特定資産からの繰入収入は、平成19年度の第3次補正に準じて財源措置を講じた。人件費支出は、専任教員1人の増員で対前年比997万円増の4億8千675万円で積算した。教育研究経費支出および管理経費支出は概ね前年度並みの積算とした。施設関係支出は6号館校舎建設の継続事業と1号館外壁改修工事費（北側）2千100万円を大学と按分して計上し、設備関係支出も大学と経費を按分して6号館関連の教育研究用機器備品費を計上した。次年度繰越支払資金は6億5千508万円（前年度第3次補正予算7億619万円）となつて、高校財政の悪化に伴って内部貸付も増大している。また、設備投資に伴う基本金組入額の圧迫要因もあって消費収支差額は、支出超過額1億3千875万円（前年度第3次補正予算1億1千55万円）の見込みである。なお、高等学校と幼稚園を対象とした内部取引勘定の増大はそのまま短大部門の資金繰りの悪化を意味するもので、高等学校および幼稚園の財政力の回復を期待している。

【資金収支】

単位 千円

収入科目	金額	支出科目	金額
帰属収入の計	876,420	人件費支出	486,750
うち、授業料収入	772,800	教育経費・管理経費支出	217,060
うち、補助金収入	80,310	借入金等返済・利息支出	61,970
借入金等収入	68,900	施設関係・設備関係支出	231,630
前受金収入	276,770	資産運用支出	1,580
その他の収入	56,590	その他の支出	10,320
		〔予備費〕	4,100
		学校法人経費按分額	7,500
資金収入調整勘定	278,340	資金支出調整勘定	4,200
内部取引勘定	282,473	内部取引勘定	317,213
前年度繰越支払資金	706,199	次年度繰越支払資金	655,089
計	1,989,012	計	1,989,012

【消費収支】

収入科目	金額	支出科目	金額
帰属収入の計	876,440	人件費	496,930
うち、授業料	772,800	教育経費・管理経費	282,680
うち、補助金	80,310	うち、減価償却額	65,620
		借入金等利息	8,870
		資産処分差額等	0
		債務保証損失引当金繰入額	0
		〔予備費〕	3,360
基本金組入額	215,850	学校法人経費按分額	7,500
計	660,590	計	799,340
		当年度消費収入超過額	138,750
		前年度繰越消費収入超過額	351,508
		翌年度繰越消費収入超過額	212,758

学生の出口対策にあつては、進路相談機能の強化を図りながら18年度及び19年度（未確定）実績を上回ることを目標にしている。また、入学時から進路支援関連のカリキュラムを複数用意し、教員および就職課スタッフとの個人面談を通じて、学生の就業意識の向上と就職活動への積極的な取り組みを促している。さらに保護者を対象とした個人懇談を実施し、家庭、学生、大学間関係を密にし、情報を共有することで、長期にわたる就職活動をバックアップしている。

- 18年度事業報告書の再掲 -

【職業紹介状況】

項目	人間総合学科			幼児教育学科			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
就職希望者数	11	205	216	4	108	112	15	313	328
就職決定者数	11	197	208	4	108	112	15	305	320
就職率（％）	100.0	96.1	96.3	100.0	100.0	100.0	100.0	97.4	97.6

ウ．新潟青陵高等学校

生徒納付金収入は1年生396人の定員を確保できたとして、1075人の積算生徒数で対前年比2千248万円増の3億9千350万円で積算した。補助金も134万円増の4億1千542万円で積算した。人件費支出には退職金の計上はないものの、政策的に人件費を削減すべきものとして前年度額で積算した。また、人件費以外の経費は前年並みの積算である。内部取引勘定の累積は2億6千654万円であるが、この数字を止めることが経営課題となっている。また近年、消費支出が消費収入を単年度で1億円（20年度当初予算では8千200万円）を超える異常な状態が続いている。行き詰まりが近いことの証左であり高等学校の全教職員挙げてこのことを強く認識する必要がある。

【資金収支】

単位 千円

収入科目	金額	支出科目	金額
帰属収入の計	833,720	人件費支出	702,990
うち、授業料収入	393,500	教育経費・管理経費支出	108,310
うち、補助金収入	415,420	借入金等返済・利息支出	91,270
借入金等収入	0	施設関係・設備関係支出	10,700
前受金収入	63,360	資産運用支出	0
その他の収入	77,590	その他の支出	2,840
		〔予備費〕	4,520
		学校法人経費按分額	8,570
資金収入調整勘定	68,770	資金支出調整勘定	1,270
内部取引勘定	266,540	内部取引勘定	244,510
前年度繰越支払資金	1,320	次年度繰越支払資金	1,320
計	1,173,760	計	1,173,760

【消費収支】

収入科目	金額	支出科目	金額
帰属収入の計	834,200	人件費	702,990
うち、授業料	393,500	教育経費・管理経費	176,310
うち、補助金	415,420	うち、減価償却額	68,000
		借入金等利息	2,410
		資産処分差額等	0
		債務保証損失引当金繰入額	0
		〔予備費〕	3,340
基本金組入額	22,620	学校法人経費按分額	8,570
計	811,580	計	893,620
		当年度消費収入超過額	82,040
		前年度繰越消費収入超過額	1,817,691
		翌年度繰越消費収入超過額	1,899,731

卒業生の進路にあつては、18年度及び19年度（未確定）実績を上回ることを目標にしている。表にある卒業生進路状況は、例年に比して進学実績が上がったことを示している。国公立大学へは新潟大学法学部、経済学部、経済学部（夜間）にそれぞれ合格者を出している。新潟青陵大学へは看護学科に6名、福祉心理学科に12名が進学。新潟医療福祉大学5名。新潟薬科大学5名。そのほか、フェリス女学院大、日本大、東洋大、駒澤大、玉川大、国土館大、実践女子大、大東文化大、神奈川大などへの進学である。そして県立新潟女子短大に13人が進学。新潟青陵大学短期大学部に36人が進学した。就職希望者100%の就職率を達成している。

- 18年度事業報告書の再掲 -

【卒業生進路状況】

科	進路先	進 学					就 職	その他	計
		大 学	短 大	医療系専門	専修各種	公共職業能力 開発施設			
普 通	男	29	7	3	18	5	4	13	79
	女	60	52	7	58	-	30	25	232
	計	89	59	10	76	5	34	38	311
	生 活 服 飾	3	3	-	11	-	4	7	28
	計	92	62	10	87	5	38	45	339

エ．新潟青陵幼稚園

園児納付金収入は積算園児数130人で他の各収入項目を含めて前年度並みで積算した。園舎のリフレッシュで300万円程度の経費増を予定しているが、よりどころとなるのが内部取引勘定による短大からの資金借入である。また、この内部取引勘定の増加傾向が慢性化しているのが気掛かりとなっている。幼稚園にあつても高校同様に人件費の政策的な抑制が必要となっている。

## 【資金収支】

単位 千円

収入科目	金額	支出科目	金額
帰属収入の計	67,900	人件費支出	53,490
うち、授業料収入	41,320	教育経費・管理経費支出	25,290
うち、補助金収入	25,250	借入金等返済・利息支出	0
借入金等収入	0	施設関係・設備関係支出	770
前受金収入	1,960	資産運用支出	0
その他の収入	0	その他の支出	70
		〔予備費〕	230
		学校法人経費按分額	830
資金収入調整勘定	1,960	資金支出調整勘定	70
内部取引勘定	50,673	内部取引勘定	37,963
前年度繰越支払資金	100	次年度繰越支払資金	100
計	118,673	計	118,673

## 【消費収支】

収入科目	金額	支出科目	金額
帰属収入の計	68,100	人件費	53,490
うち、授業料	41,320	教育経費・管理経費	27,640
うち、補助金	25,250	うち、減価償却額	2,350
		借入金等利息	0
		資産処分差額等	0
		債務保証損失引当金繰入額	0
		〔予備費〕	150
基本金組入額	970	学校法人経費按分額	830
計	67,130	計	82,110
		当年度消費収入超過額	14,980
		前年度繰越消費収入超過額	320,230
		翌年度繰越消費収入超過額	335,210

## 2) 当該年度の主な事業の目的・計画

## ア．新潟青陵大学

本学は、看護学科と福祉心理学科連携のユニークな教育体系の下に医療福祉面での地域社会に貢献できる人材養成という実学教育の実現を目指している。

看護学科では、看護学に関する専門の知識と技術を教授・研究し、広く深い教養と豊かな人間性を培うことによって、看護の基礎的諸能力を修得させることを目指し、国際社会において貢献することのできる有為な人材を育成することを目的にしている。これらの目的を実現のため「人間・生命の尊厳を守る意識を培い、自己の資質の向上に努める能力を養う。

他者を尊重し、自己をも尊重する建設的な人間関係を形成する能力を養う。看護に必要な知識・技術を学習することによって、よりよい看護実践ができる基礎的能力を養う。看

護の諸現象について、論理的な思考のもとに、適切な情報の収集、科学的な分析、理論的な判断を用いて、有効な対応を考察できる能力を養う。専門的知識・技術を用いて、科学的な根拠に基づく安全・安楽な援助を提供できる能力を養う。社会における看護が担うべき役割を認識し、保健医療福祉領域の専門職および地域の人々との協力・連携のもとに、看護の発展に寄与する能力を養う。国際的な視野をもち、創造的な思考を深め、専門職業人として社会に貢献できる能力を養う。」の教育目標を掲げている。また、看護学科では看護師と保健師の一貫養成を行い、希望者には助産師もしくは養護教諭一種免許状を取得できるプログラムを用意している。

福祉心理学科では、本学の教育理念である「生命尊重・人間尊重の理念に基づき、国民の福祉と健康を支え、全人的な視点からこれを保障するという社会の要請に応えらるとともに、クオリティ・オブ・ライフ(QOL)の向上を実現すべく、看護学科と福祉心理学科の連携のもとに教育・研究を行い、医療福祉面での地域社会に貢献できる人材の養成」を実現するため「人間の命と尊厳を守る力を育てる。人間を支えるための土台を識(し)る。人間を見つめ、社会との関連を考える。人間や地域と関わっていく精神を学ぶ」の教育目標を掲げている。また、本格的な少子・高齢社会の進展に対応するため、保健、福祉、心理、医療に関する幅広い視点を兼ね備えた社会福祉士、精神保健福祉士、認定心理士の養成の他、介護福祉士、保育士、カウンセリング実務士、高等学校福祉科、公民科の教員養成のプログラムを用意している。

大学院臨床心理学研究科では、臨床心理学に対する精深な学識を基に、広い視野をもって心理臨床の場に臨める、「心の専門家としての高度専門的職業人」「地域や文化に職務を通して貢献できる高度専門的職業人」「実践的で有効な援助が可能な技術と人格を備えた高度専門的職業人」の育成を目指している。さらに、大学院に研究生制度を置くことにより、高度専門的職業人としての卒業教育が可能となり、平成20年4月から始まる(平成20年度には7人を予定)。なお、日本臨床心理士資格認定協会による第一種指定大学院の必備の施設である新潟青陵大学大学院臨床心理センターは、平成18年4月に開設している。

#### イ．新潟青陵大学短期大学部

人間総合学科人間総合コースは、学生の興味・関心・取得希望資格等に応じた多様な履修形態を可能にしたことを特色としている。幅広く学べる自由と目的別に集中して体系的に学ぶことを同時に満足させるために、きめ細かな履修指導を最重要課題にしている。認定資格である衣料管理士、ビジネス実務士、フードスペシャリスト等々、および、対策授業である検定試験により取得可能なカラーコーディネータ、医療事務、国内旅行業務取扱管理者等々の多様な職業に必要な知識と技能を授け、幅広い分野において活躍できる人材の育成を目的としている。また人間総合学科介護福祉コースは、介護に関する知識と技術の習得を目的とした厚生労働省が指定する介護福祉士養成施設であって、あたたかい心を持った「介護のスペシャリスト」の育成に努めている。また、両コースとも社会人として協調性ある人材の育成という見地から「基礎ゼミ」や「社会生活とマナー」等々の授業を核にしてマナー指導の



徹底を期している。

幼児教育学科は、幼稚園教諭と保育士の養成を目的にしている。教育基本法と児童福祉法の理念に基づき、将来を担う子どもの保育と教育の向上を目指して、ひとり一人の子どもの最善の利益のために努力し、自らを成長させる人間性豊かな保育者を育成することを教育理念に掲げ、学科の全教員の共通理解の下で学生をきめ細かく指導する体制をとっている。また、学科が目指す質の高い保育者養成が、保育現場からの支持と高い評価を得られるよう努めている。さらに、社会人としてのマナー指導も徹底して行うことにしている。

#### ウ．新潟青陵高等学校

恵まれた自然環境の中にある新潟青陵高等学校は、生徒一人ひとりの豊かな人間性を育むとともに、生徒一人ひとりの多様な進路希望をかなえるための教育活動の一層の展開を図ります。

「学力の向上を目指して」

授業時間を45分から50分に改めることにより総授業時間数を増やし、授業時間の確保、各教科科目の精選を行い、基礎学力の定着に努めます。また、生徒の多様な進路希望を叶えるべく、普通科においては、これまでの総合進学コースに 類・ 類を設け、 類においては大学・短大・専門学校・就職とさまざまな進路希望を持つ生徒の自己啓発を促進するために「福祉基礎」「スポーツと健康」「情報リテラシー」「造形表現」「食物と健康」の5つの学校設定科目の何れかを選択し、2年間履修できるようにしました。 類は大学進学を志望する生徒を対象に、主として文科系科目を充実させ、3年次には学校設定科目として表現、科目「小論文セミナー」を設け、コミュニケーション能力・表現能力が高められるよう配慮します。特別進学コースはこれまで同様に主要5教科の修得に努め、国公立大学・中堅難関私立大学への合格を目標とします。生活服飾科においては、家庭科の専門科目に対する知識の修得と、幅広い教養を身につけ、本校の歴史と共に歩んできた学科に相応しいものとなるよう努めます。

「社会に有為な人材の育成を目指して」

社会人として有用な基本的な生活習慣について、家庭と連携してその醸成に努めます。欠席、遅刻、欠課の減少に努め、規律正しく明るく活発な高校生活を過ごせ得るよう、健康管理の徹底と清掃活動を通しての環境保全意識の向上、さらには健全な生活行動の奨励に努めます。

「開かれた学校づくりを目指して」

新潟青陵高等学校が生徒、保護者、卒業生、受験生、受験生の保護者を始めとする様々なステークホルダーの満足度を高め、また、新潟青陵高等学校の社会的責任を高めるために、中学生の体験入学、体験授業、クラブ見学等の参加型プログラムの学校説明会の充実、学校通信、学年だより、進路だよりなどの発行やホームページの充実を通して、教育をめぐる様々な情報の開示に努めます。



## エ．新潟青陵幼稚園

シュタイナー教育が目指す、「真に思考力のある自立した人間」となるために、幼児期にはその基礎となる意志、感性、感情を育てることが求められている。本年度の教育目標は、意志のもととなる『意欲を持って生活する子ども』とし、この実現のため、次の4つの子どもの姿を目指し取り組む。

### 「落ち着いた子ども」

静と動のバランスの取れた一定した生活リズムにおいて、子どもの情緒の安定をはかり、自立の基礎となる基本的な生活習慣を身につける。また、子ども自身が持っている想像力を発揮できるように自然素材の教材や環境を構成し、自ら遊びを創造する力を育てる。

### 「友だちと遊ぶ子ども」

近年、人との関わりが苦手な青少年が増えている現状を踏まえ、人間関係の発達に重点をおく。遊びを楽しむ過程において友だちと積極的にかかわり、自分の考えを話し、友達の考えを聞こうとし、友だちと折り合いをつけるために話し合うことができる子どもを育てる。また、集団生活におけるルールを守ることによって、お互いが気持ちよく生活することができることに気づかせ、ルールを守ろうとする態度を養う。

### 「思いやりのあるやさしい子ども」

子どもどうしの気持ちを保育者が伝える役割を果たし、子どもがお互いの気持ちを知り、助けようとする気持ちを育てる。園周辺の自然環境を利用し、自然に親しみ興味関心を持ち自然の変化や美しさに感動する豊かな感性を育む。

### 「よく考え判断し行動する子ども」

やりたい気持ちを実現することができる環境を作り、子どもが満足感を味わうことができる経験を積み重ねることができるようにし、目的を持って物事に取り組み考え工夫する力を育てる。

## 5 財務計画の概要

### 1) 経年比較等

#### ア、貸借対照表

当初予算策定時に19年度及び20年度を確定及び予測することは困難なため、15～18年度分を参考までに掲載することとした。

比 率 ( × 1 0 0 )		15年度	16年度	17年度	18年度
消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{負債} + \text{基本金} + \text{消費収支差額}}$	21.1	20.2	19.9	19.4
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金} + \text{基本金未組入額}}$	95.4	89.7	91.3	92.1
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{基本金} + \text{消費収支差額}}$	105.4	109.3	103.3	100.4
固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{基本金} + \text{消費収支差額} + \text{固定負債}}$	96.0	93.8	90.4	88.7
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	135.3	159.7	187.2	205.1
前受金保有率	$\frac{\text{現預金}}{\text{前受金}}$	161.7	203.7	254.0	279.7
総負債比率	$\frac{\text{負債}}{\text{総資産}}$	18.1	22.1	21.2	20.2
負債比率	$\frac{\text{負債} - \text{前受金}}{\text{総資産}}$	11.2	15.6	14.7	13.7
基本金実質組入率	$\frac{\text{基本金} + \text{消費収支差額}}{\text{基本金} + \text{基本金未組入額}}$	75.9	71.1	72.8	74.0

#### イ、消費収支計算書

20年度は当初予算、19年度は最終補正予算による分析数値を掲載した。

##### 【人件費比率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 1 0 0 )
20	55.57	56.70	84.27	78.55	64.28	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$
19	56.82	55.57	88.52	78.96	66.04	
18	55.88	56.09	94.59	79.33	68.04	
17	51.85	56.91	87.87	85.86	65.51	
16	48.27	62.93	79.23	74.86	62.74	

20年度は退職金を計上していないこと。

##### 【教育研究経費比率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 1 0 0 )
20	23.23	22.83	17.60	18.40	21.58	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰 属 収 入}}$
19	22.16	20.53	16.55	14.72	20.05	
18	22.55	20.17	16.10	12.70	19.88	
17	21.70	20.70	14.41	11.04	18.99	
16	20.54	21.55	15.62	13.29	19.13	

【管理経費比率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
20	7.79	9.42	3.54	22.19	7.74	<u>管 理 経 費</u> 帰 属 収 入
19	7.87	9.00	3.23	21.55	7.50	
18	9.07	9.13	3.44	19.65	8.12	
17	9.07	8.46	2.97	16.53	7.69	
16	9.71	8.73	3.42	19.47	8.04	

【消費収支比率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
20	107.48	121.00	110.11	122.31	111.85	<u>消 費 支 出</u> 消 費 収 入
19	108.08	116.55	113.31	118.01	111.96	
18	94.86	92.42	120.83	114.77	101.98	
17	93.13	98.54	112.40	115.71	101.07	
16	90.08	108.84	107.14	109.22	100.56	

【経常経費依存率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
20	104.61	103.43	227.10	198.72	125.41	<u>消 費 支 出</u> 納 付 金
19	105.44	100.44	261.41	193.61	129.33	
18	105.25	100.23	286.04	181.70	133.17	
17	100.27	101.20	284.01	221.00	131.99	
16	96.38	113.53	239.10	168.95	128.80	

【納付金比率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
20	84.42	88.17	47.17	60.68	75.41	<u>納 付 金</u> 帰 属 収 入
19	84.91	87.23	42.09	60.26	73.52	
18	85.50	87.30	40.64	62.44	72.96	
17	85.13	87.53	37.79	52.04	70.85	
16	83.92	84.42	42.00	64.64	70.87	

【寄附金比率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
20	0.03	0.01	0.29	0.29	0.10	<u>寄 附 金</u> 帰 属 収 入
19	0.04	0.01	0.27	0.30	0.10	
18	0.05	0.01	0.37	0.66	0.14	
17	0.13	0.01	0.35	0.20	0.17	
16	0.16	0.02	0.23	0.23	0.14	

【補助金比率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
20	13.27	9.16	49.80	37.08	22.00	補助金 帰属収入
19	11.83	8.91	46.97	37.02	21.01	
18	11.24	8.60	45.63	33.21	20.61	
17	11.45	8.25	47.96	29.27	21.90	
16	12.67	9.77	49.56	33.94	23.63	

【基本金組入率】

年度	大 学	短期大学	高等学校	幼 稚 園	学園全体	比 率 ( × 100 )
20	17.83	24.63	2.71	1.42	15.45	基本金組入額 帰属収入
19	17.17	24.83	2.91	1.14	15.08	
18	5.14	5.32	3.79	1.15	4.72	
17	8.34	10.10	4.51	0.60	7.47	
16	10.19	11.94	6.26	0.70	9.22	

2) 過年度の資産総額(純資産額)の推移

当初予算策定時に19年度及び20年度を確定及び予測することは困難なため、14～18年度分を参考までに掲載することとした。

単位 円

年度	基本金組入額	消費収支差額	純資産額
18	9,007,477,443	1,763,895,699	7,243,581,744
17	8,883,545,610	1,793,091,962	7,090,453,648
16	8,663,703,977	1,789,097,684	6,874,606,293
15	8,354,999,027	1,714,065,575	6,640,933,452
14	8,107,757,866	1,652,569,321	6,455,188,545